

Showcase Gallery

July 2021 + March 2022

横浜市民ギャラリーあざみ野 エントランスロビー

観覧無料

主催：横浜市民ギャラリーあざみ野
(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

山本愛子 YAMAMOTO Aiko

ステイトメント

私は普段、絹布や繭糸、天然染料などの自然素材及び廃材を用いて、ものの持つ土着性や記憶の在り処を主題に制作をしています。本展では、「植物と光」をキーワードに見えてくる、写真術と染色技術の親和性に着目します。世界初の写真集『自然の鉛筆』で発表された、没食子酸(虫に寄生されたブナの若枝等から採られる物質)を活用した写真術であるカロタイプに纏わるリサーチを中心に、草木染めによる作品制作を試みます。



略歴

1991年神奈川県生まれ、在住。東京藝術大学大学院先端芸術表現科修了。平成30年度ポーラ美術振興財団在外研修員として中国で研修。国内外のレジデンスや展覧会に参加。主な展示に2021年「Under 35 2021」BankART KAIKO(横浜)、2019年「Pathos of Things」宝蔵蔵国際芸術村(台北)、「交叉域」蘇州金鶏湖美術館(蘇州)など。

常木理早 TSUNEGI Risa

ステイトメント

農業や劇場あるいは電車内といった、特定の環境下における道具と動作から着想し、奇妙なオブジェで構成するインスタレーション作品を制作しています。身近にある大小様々、有形無形な関心の持たれていない多くのごと、その変換を探索しています。鍬や鎌、ヴェルヴェットのロープ、ゴルフクラブ、吊り革、タンス。使い方によってある決まった動きを促すモノたちに新たな文脈を与え、観客の身体に緩やかに働きかける空間を作ります。



略歴

1982年群馬県生まれ、神奈川県在住。ロンドン芸術大学チェルシー・カレッジにて絵画を学び、2009年グラスゴー芸術大学にてMFA修了。主な展覧会に、2020年、2019年「黄金町バザール」(神奈川県)、2019年「Causality and synchronicity」The Container(東京)、「OUT OF BOUNDS」Bloc Projects(イギリス)など。

後藤有美 GOTO Yumi

ステイトメント

練込(二種類以上の色土を集めて成形する陶芸技法)による絵画作りは、陶器と絵画の間に行き来可能な繋がりを持たせてくれた。工芸と美術の間にある差異に、違和感を覚えたことをきっかけに始めた試みは今年で4年目になる。画像を練込として捉えるため、モチーフの絵画をピクセルに置き換えてきたが、パーツの集合による成形方法を取るうちに、器の中にも関係を見いだすようになった。器を通して、互いの間にある関係を模索している。



略歴

1997年宮城県生まれ。2019年東北芸術工科大学芸術学部美術科/工芸コース卒業。主な個展に、2020年「見立てるといふこと」Gallery KIDO Press(東京)、「still life」日本橋高島屋アートアベニュー(東京)。グループ展に、2020年「TUAD ART-LINKS 2020@Takashimaya shinjuku」(東京)。同年、「3331 ART FAIR 2020」(東京)出展、「10年の器・10年の菓子」山形ビエンナーレ(山形)出品など。

WORK
SHOP

後藤有美展 関連ワークショップ
器で絵画をつくってみよう

絵画の中に描かれている「カップ&ソーサー」を陶芸で制作します。色粘土を用いて、カップは手びねりで、ソーサーは型で、絵画の中の陶器以外の部分の色や形を取り入れながら、成形をします。ティーカップ、コーヒーカップが描かれた、お気に入りの絵や作ってみたい絵画があれば、ぜひ紙に印刷してお持ちください(絵の資料はこちらでもいくつかご用意します)。

【日時】全2回

1回目 2022年1月8日(土)10:30~15:30(昼休あり) 2回目 2月12日(土)14:00~15:30

【講師】後藤有美

【対象】中学生以上10名(応募者多数の場合、抽選)

【参加費】2,500円(材料費・焼成代込、全2回分)

【申込締切】12月20日(月)必着

【申込方法】横浜市民ギャラリーあざみ野ホームページ(<https://artazamino.jp/>)よりお申し込みください。

横浜市民ギャラリーあざみ野

開館時間 9:00-21:00

※最新の開館状況につきましては、横浜市民ギャラリーあざみ野のホームページをご確認ください。

〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3

アートフォーラムあざみ野内

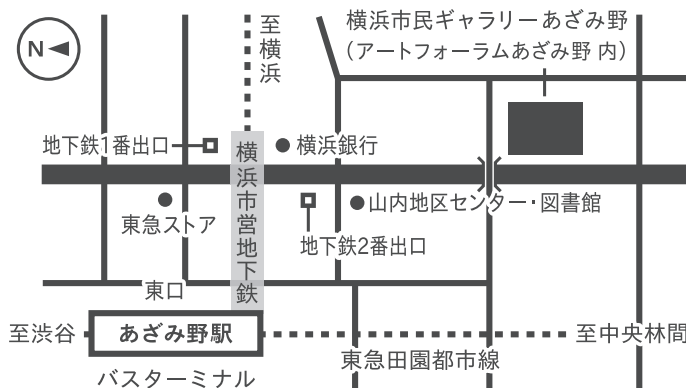
TEL:045-910-5656 / FAX:045-910-5674

Email:info@artazamino.jp URL:https://artazamino.jp/

【最寄り駅】東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩5分

横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口 徒歩5分

【駐車場】27台(有料・予約制) TEL:045-914-5910



ショーケース ギャラリーが リニューアル!

2021年度より新たに
3つのシリーズを
展開します!



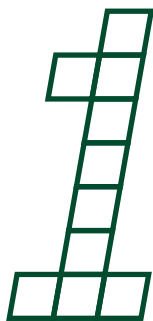
アーティスト ×
横浜市所蔵カメラ・写真コレクション



黄金町エリアマネジメントセンター
連携企画



シリーズ 陶の表現



アーティスト × 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション

山本愛子展

2021/7/10sat → 9/20mon-hol

7月26日(月)、8月23日(月) 休館

横浜市民ギャラリーあざみ野では、約12,000件に及ぶ横浜市所蔵カメラ・写真コレクションを収蔵しています。7～9月のショーケースギャラリーでは、このコレクションとアーティストのコラボレーションによる展示を行います。本展では、染色や写真印画技法のサイアノタイプの技法を用いて、事物や人の営みの痕跡を掬い上げる作家、山本愛子が収蔵品の写真を題材に制作した新作を展示します。



あわいの旗 - 12種の草木による / 2021年 / 綿布に草木染

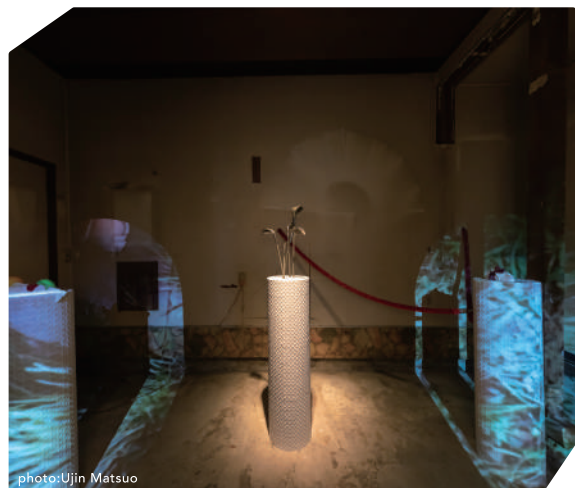
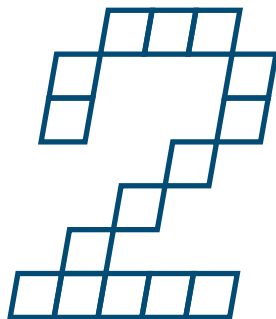


photo:Ujin Matsuo

「ソックス イン ランチボックス」展示風景(黄金町バザール2019) / 2019年 / ミクストメディア



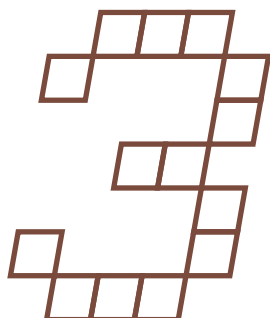
黄金町エリアマネジメントセンター連携企画

常木理早展

2021/9/25sat → 12/12sun

9月27日(月)、10月25日(月)、11月22日(月) 休館

横浜市の黄金町エリアでは、黄金町エリアマネジメントセンターを中心としたアートによるまちづくりにより、国内外の様々なアーティストが滞在したり、スタジオを構えて制作を行っています。9～12月は、黄金町のアートフェスティバル、黄金町バザールの時期に合わせて黄金町エリアで活動するアーティストをご紹介します。本年は、一見関連の無いイメージを組み合わせた立体やインスタレーションを通じて、物ごとの別の側面を表出させる常木理早の作品を展示します。(協力: 特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター)



シリーズ 陶の表現

後藤有美展

2022/1/8sat → 3/20sun

1月24日(月)、2月28日(月) 休館

横浜市民ギャラリーあざみ野のアトリエにある陶芸窯は、様々なアーティストによって作品制作やワークショップ等に活用されています。この活動を踏まえ、陶の作品を制作する新進作家を紹介する新シリーズを始めます。本年度は、インターネットで見つけた静物画やそこに描かれた陶磁器の色彩や形態を、陶芸の練込技法で取り入れながら造形する後藤有美の作品をご紹介します。



フィンセント・ファン・ゴッホの絵 / 2020年 / 半磁土